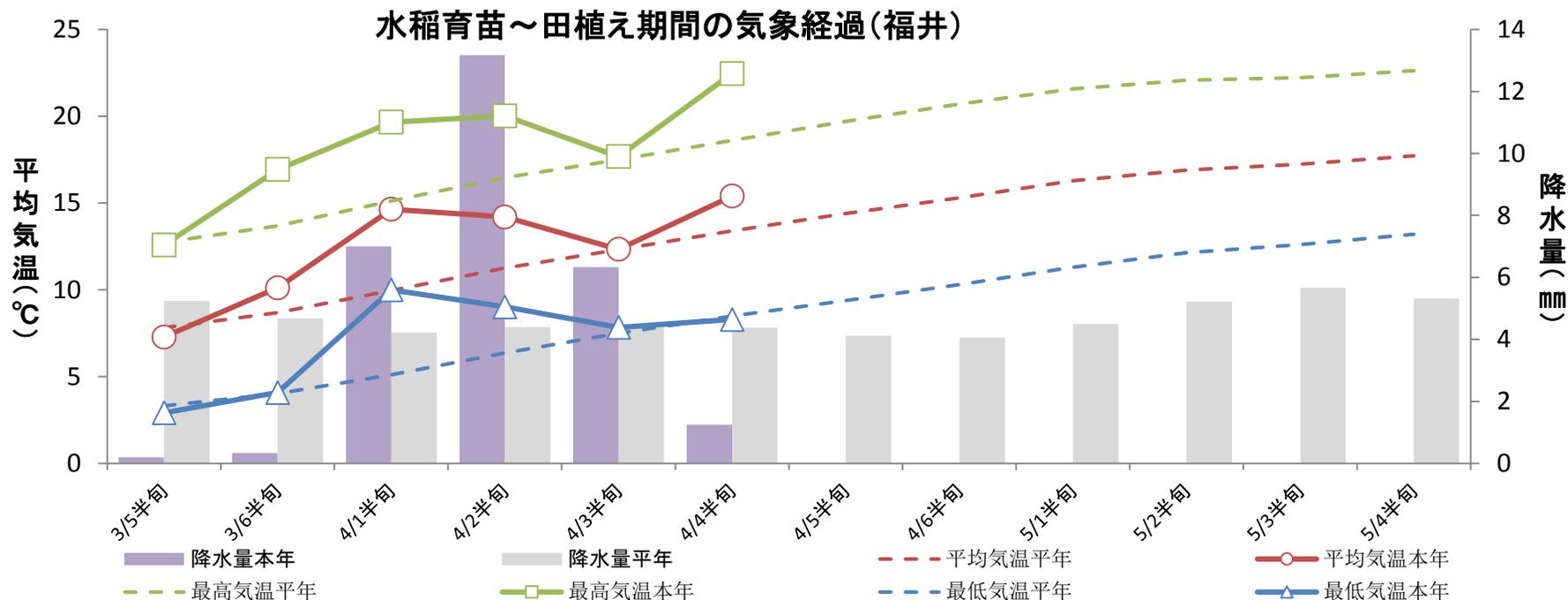


稲作情報 No.2

〔水稲育苗管理・大麦防除〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会）
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2016inasaku.html>

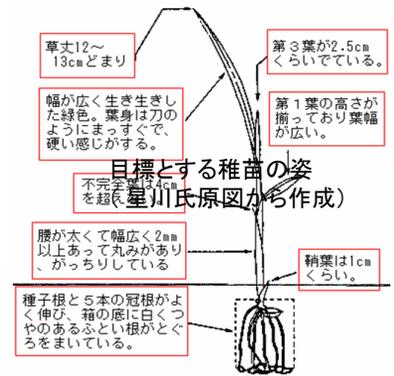
・水稲育苗ハウス内の温度管理に注意しましょう。30℃を超えないように換気しましょう。
 ・大麦の赤かび病防除を適期に行いましょう。



・4月に入ってから平年より高温に推移している。
 ・ハナエチゼンの苗でヤケ苗が一部で発生している。
 ・今後1週間は期間のはじめと終わりに雨が降り、気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多い予報です。

水稻

作業	作業の注意点																
播種～出芽	<p>【施肥量】 ・ 床土の施肥窒素施肥量は5月中旬以降に植えつけるコシヒカリで1.0g/箱とし、その他品種で1.5g/箱とする。</p> <p>【播種】 ・ 播種量はコシヒカリで一箱当たり130g、その他品種で150gとする。</p> <p>【出芽】 ・ 出芽温度は30～32℃。出芽期間は2～3日。芽を伸ばしすぎないように注意する。</p>																
緑化	<p>【緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出芽苗を育苗ハウスに並べる。苗箱の上に被覆資材を掛け、急に強い光が当たらないようにして白化苗の発生を防止する。被覆資材を掛けている間は床土表面が乾いていないか確認し、乾いていた場合は少量の水を散布する。苗が黄色～黄緑色となったら被覆資材を外す。 ・ 育苗ハウスに苗箱を出したとき、あるいは、被覆資材を外した後、<u>床土が乾いていれば灌水する。</u> 																
硬化、馴化	<p>【温度管理】</p> <table border="1" data-bbox="416 548 1576 729"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化</td> <td>20～25℃</td> <td>15～20℃</td> <td>10℃以下、30℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>硬化</td> <td>15～20℃</td> <td>10～15℃</td> <td>5℃以下、30℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>馴化</td> <td colspan="3">移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、30℃以上にしない</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5℃以下の低温が予想される時はストーブをたくなどして保温する。夜間に被覆資材をかけた後、翌朝低温の心配がなくなった時は忘れず外す。 ・ 育苗ハウス内で生育差が大きい場合は育苗箱の位置を入れ替える。育苗箱の底面とハウスの床面に隙間があると生育差が出るので予め平らにしておく。 <p>【灌水、馴化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝、葉先に露を持っている場合は灌水しない。露が見えない時や育苗箱の縁の土が白く乾いている時は灌水する。 ・ 灌水は晴れた日の午前中に行い1回でたっぷりとやる。午後3時以降はなるべく行わない。 ・ 移植3日前頃からハウスの横面のビニールを大きく開けて苗を外気にならず。霜が降りる日はやめる。 <p>【移植前の薬剤苗箱処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本田での病害虫防除のために、薬剤苗箱処理を行う場合は防除基準を守る。 ・ 水稻育苗後に育苗ハウスを利用して別の作物を栽培する場合は、跡作に苗箱処理薬剤の影響を出さないように注意する。 	時期	昼間	夜間	備考	緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、30℃以上にしない	硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、30℃以上にしない	馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、30℃以上にしない		
時期	昼間	夜間	備考														
緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、30℃以上にしない														
硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、30℃以上にしない														
馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、30℃以上にしない																



大麦

作業	作業の注意点									
赤かび病防除	【防除時期、薬剤】									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>時期</th> <th>薬剤、使用量、使用時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>開花期(出穂期の5日後)</td> <td>トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫14日前</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>1回目の7~10日後</td> <td>(上記以外にも適用薬剤はあります。病虫害防除だよりを参照。)</td> </tr> </tbody> </table>		時期	薬剤、使用量、使用時期	1回目	開花期(出穂期の5日後)	トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫14日前	2回目	1回目の7~10日後
	時期	薬剤、使用量、使用時期								
1回目	開花期(出穂期の5日後)	トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫14日前								
2回目	1回目の7~10日後	(上記以外にも適用薬剤はあります。病虫害防除だよりを参照。)								
	(出穂期は全茎の40~50%が出穂した日)									
	<ul style="list-style-type: none"> 出穂後、開花期に平均気温が15℃以上で降雨が続くときに多発する。被害粒混入限度0.0%を超えると出荷できない。 出穂状況を確認し遅れないように適期防除に努める。同一成分の薬剤連用は避ける。使用時期(収穫前日数)にも注意する。 									
排水溝の手直し雑草対策	<ul style="list-style-type: none"> 溝の中の土さらいなど、排水溝から雨水が速やかに排出できるように手直しを行う。 水稲作の準備に向け用水への通水が始まったときは隣接水田等からの浸水の有無を確認する。 圃場周辺を見回りカラスノエンドウを抜き取る。大きくなると麦に絡みついて取りにくくなるので目立つ前に除草する。 									
		 <p>カラスノエンドウ</p>								

【天気予報】

4月21日11時発表

日付	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	
福井県	曇一時雨 	曇のち一時雨 	曇のち晴 	曇時々晴 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨 	
降水確率(%)	70/30/10/0	50	40	30	30	50	50	
信頼度	/	/	C	C	B	C	C	
福井	最高(℃)	18	23 (20~26)	21 (17~24)	22 (18~25)	23 (20~27)	22 (19~26)	21 (17~24)
	最低(℃)	13	13 (11~15)	11 (9~13)	11 (9~13)	12 (10~15)	12 (10~15)	13 (10~15)

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

【メールマガジン e農メール】

福井県内の農業者や農業関係者の皆さまに、稲作情報をホームページに掲載したことを速やかにお知らせするため、携帯電話向けの「e農メール(いーのうめーる)」を配信しています。

配信を希望される方は、お手数ですが福井県が運営する「eマガふくい」からご登録をお願いします。(福井県メールマガジン利用規約をご確認ください。)なお、登録および情報料は無料ですが、パケット通信料は各自でご負担いただくこととなりますので予めご了承ください。

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス